



→ゴールデンウィークが明けて矢切の渡しも柴又も、もとの静けさを取り戻した。写真を撮るな撮らせろともめた河川敷も、ただの広場に戻った。



↑「アッ！ 竜巻」の声におもわずシャッターをきった。「もっと大きくなればいいのに……」と、誰かがいった。

「とにかく撮るからね。文句があるんならここへ連絡してよ」

そいつて、ガードマンにふだん使っている名刺を渡して矢切の渡しに戻った。その途中。さすがに対応が早い。制作会社のプロデューサーと名乗る男性から携帯に電話がはいった。

「警備の者が失礼なことをいったよう
で……………」

「失礼ですよ」

「CMの制作をしていまして、オンエアまでにインターネットのブログなどで公開されてはいけないので、警備の者を配してガードしていたんです」

「おたくの言い分はわかる。でも禁止する権限があんたたちにあるの？」

「ですから、オンエア前に公表されては困るからです。もし発表する場合にはのちほど連絡先をメールさせていただきますから公表前に連絡ください」

またまた鼻の穴から逆さキノコが吹き出してきた。あれからもう二週間。メールはまだない。肖像権だプライバシーだ、秘守義務だと並べたてていたのは何なのだ？

今週のクマ

「ま、あきれたね」といっているような顔をして私を見た。なんにあきれたのだろうか、クマはいまだに人の言葉をしゃべれない。こっちは犬語をしゃべれないから、おあいこかア！ やっと静かになった矢切でクマは暇そう。



→ 蔵前駅で捕まえられたスズメは、どうしたのだろうか。そのまま蔵前で放されてもきっと生きてはいけないだろう。進入した駅まで戻して放されたのだろうか。新聞のコラムになりそうな出来事だった。



興奮冷めやらぬゴールデンウィーク明けの六日。矢切駅から電車に乗った。

と、どこからかスズメの鳴き声。

へへ、北総公団鉄道では車両のなかで鳥の声を流すようになったんだ。

そう思って周囲の客を見まわすと、携帯電話をつついていている者、文庫本を読んでいる者、じっと座っている者。いつもと変わらない車内風景。

それにしてもうるさい音！ そう思っ
て音源とおぼしきあたりに目をやると、
なんと吊革のバーにスズメがいるでは
ないか。それも、くちばしの黄色いヒナ。

へさて、どうしよう。

考えているうちに電車はどんどん都心
に向かう。捕まえたとして、どうしたら
いいのだろうか。引き返して元の場所に戻
してやるべきか。だけど、どこの駅から
乗り込んだのだろうか。思案しているうち
に曳舟駅を過ぎて電車は地下に進入。

とたんにスズメはパニック。飛び立っ
た。見上げる客。さして驚くでもない。
とうに知っていたさ、とでもいいかげな
顔。蔵前駅に到着、で三人の駅員が飛び
込んで来た。たちまちご用。電車は、発
車。車内は元に戻った。ふたたび携帯電
話に文庫本……、いつもの光景だった。